



2015 年 11 月 12 日

## ニュースリリース

### シリコンラボ、EFM32<sup>®</sup> Gecko MCU ポートフォリオで ARM<sup>®</sup> mbed<sup>™</sup> OS のサポートを発表 GECKO テクノロジーで ARM 社 mbed OS の消費電力を低減

よりスマートなコネクテッド・ワールドを目指して、シリコンおよびソフトウェア・ソリューションを提供する大手メーカーの [シリコン・ラボラトリーズ](#) (本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコンラボ) は、ARM Cortex<sup>®</sup>-M プロセッサをベースにした低消費電力の EFM32<sup>®</sup> Gecko MCU ポートフォリオで、ARM<sup>®</sup> mbed<sup>™</sup> OS を幅広くサポートすることを発表しました。mbed OS を実行するシリコンラボの Giant Gecko、Happy Gecko、Leopard Gecko、Wonder Gecko MCU と、mbed 電力管理 API (アプリケーション・プログラミング・インタフェース) は、IoT 向けにバッテリー動作の ARM ベース・コネクテッド・デバイスを開発する組み込み開発者に、クラス最高レベルのエネルギー効率、設計の簡素化、およびセキュリティ技術をご提供します。

ARM 社 mbed OS のサポートは、Giant Gecko、Happy Gecko、Leopard Gecko、Wonder Gecko の各スターター・キット (メーカー希望小売価格: 各 29.99 米ドル) で出荷中です。シリコンラボの mbed プラットフォーム・サポートの詳細は [www.silabs.com/mbed](http://www.silabs.com/mbed) をご覧ください。組み込み開発者向けに、シリコンラボの mbed サポート開発プラットフォームの小型版が 2016 年 1 月に発売予定です。この新しい Thunderboard Wear デモ・ボードは、Giant Gecko MCU、Bluetooth Smart コネクティビティ、多種多様なセンサを搭載しており、開発者は、ウェアラブル機器および IoT ノード向けの光学式心拍数監視テクノロジーやその他の重要なテクノロジーを評価できます。このボードは、mbed OS およびシリコンラボ Simplicity Studio 開発プラットフォーム上でシームレスに動作します。Thunderboard Wear ボードの価格、ご注文などの詳細は [www.silabs.com/thunderboardwear](http://www.silabs.com/thunderboardwear) をご覧ください。

シリコンラボは、今週米カリフォルニア州サンタクララで開催されている「ARM TechCon」の ARM mbed Zone で、mbed をサポートする開発プラットフォームを展示しています。この開発プラットフォームは、シリコンラボの Cortex-M3 をベースにした EFM32 Giant Gecko MCU のほか、Bluetooth<sup>®</sup> Smart テクノロジー、照度センサおよび心拍計 (HRM) 用 Si114x オプティカル・センサを備えており、mbed OS、Bluetooth Smart コネクティビティ、生体計測をサポートする低消費電力コネクテッド・デバイスを簡単に設計できることを実証します。オプティカル・センサを使った HRM アプリケーションの先駆者として、シリコンラボはウェアラブル機器設計で心拍計測を簡潔にする独自のハードウェアおよびソフトウェア技術を開発しています。

これに関連して ARM 社は ARM TechCon で、mbed OS を統合した新しいウェアラブル・リファレンス・デザインを発表しました。このリファレンス・デザインは、シリコンラボと ARM 社が共同で開発し今年初めに発表した電力管理 API を組み込んでいます。これらの低消費電力 mbed API は、mbed OS においてあらゆるペリフェラルを連携するための基盤を提供します。これらの API は、実世界での低消費電力アプリケーションのシナリオを想定して設計されており、ARM mbed OS をサポートする設計を最適化し、低消費電力と長時間のバッテリー動作を実現します。EFM32

Gecko MCU は、mbed OS に組み込んだ電力管理 API を利用して、使用中の MCU パリフェラルに応じて、最適なスリープ・モードを自動的に有効にします。これによりシステムレベルの消費電力を劇的に低減できます。

ARM 社で、IoT ビジネス・マーケティング担当バイス・プレジデントを務める Zach Shelby 氏は、次のようにコメントしています。「ARM 社は、シリコンラボが mbed OS をサポートすることを歓迎します。また API とリファレンス・デザインにおける私たちの共同開発が今後も継続することを期待しています。この共同開発は、超低消費電力 ARM ベースのマイクロコントローラの将来を牽引するものです。シリコンラボのシステムレベルのエネルギー最適化に対する深い理解は、mbed OS のサポートと共に、センシングおよび低消費電力コネクティビティなどの分野の消費電力制約が厳しい IoT デバイス技術において、革新をもたらすことでしょう。」

シリコンラボで、IoT 製品マーケティング担当バイス・プレジデントを務める Daniel Cooley は、次のようにコメントしています。「シリコンラボの Gecko MCU、ワイヤレスおよびセンシング・ソリューションと、ARM 社の低消費電力 mbed OS が共に実装されることで、規格に基づいた低消費電力 IoT 製品向けの最高のプラットフォームを提供できます。ARM 社 mbed OS は、IoT 製品の保護に役立つ基本的なセキュリティ機能を提供する一方、デバイスとクラウド間の接続の複雑さを抽象化することで IoT 向け C++組み込み設計を促進します。」

ARM 社 mbed OS のサポートは、シリコンラボの Giant Gecko、Happy Gecko、Leopard Gecko、Wonder Gecko の各スターター・キット(メカ希望小売価格: 各 29.99 米ドル)で出荷中です。シリコンラボの mbed プラットフォーム・サポートの詳細は [www.silabs.com/mbed](http://www.silabs.com/mbed) をご覧ください。また、組み込み開発者向けに、シリコンラボの mbed サポート開発プラットフォームの小型版が 2016 年 1 月に発売予定です。この新しい Thunderboard Wear デモ・ボードは、シリコンラボの Giant Gecko MCU、Bluetooth Smart コネクティビティ、多種多様なセンサを搭載しており、開発者は、ウェアラブル機器および IoT ノード向けの光学式心拍数監視テクノロジーやその他重要なテクノロジーを評価できます。このボードは、mbed OS およびシリコンラボ Simplicity Studio 開発プラットフォーム上でシームレスに動作します。Thunderboard Wear ボードの価格、ご注文などの詳細は、[www.silabs.com/thunderboardwear](http://www.silabs.com/thunderboardwear) をご覧ください。

### シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ(略称: シリコンラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、[www.silabs.com](http://www.silabs.com)) は、IoT(モノのインターネット)、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカーです。シリコンラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコンラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は [www.silabs.com](http://www.silabs.com) をご覧ください。

### ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えます

シリコンラボ、EFM32® Gecko MCU ポートフォリオで ARM® mbed™ OS のサポートを発表

が、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

###

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国)1-512-532-5871 E メール: [dale.weisman@silabs.com](mailto:dale.weisman@silabs.com)

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト [www.silabs.com/parametric-search](http://www.silabs.com/parametric-search).

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: [kasai@miacis.com](mailto:kasai@miacis.com)

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) <http://jp.silabs.com>

以上